

平成 28 年度 山口県立大学 教員免許状更新講習 シラバス

開設講座名	【選択】自立を育む弁当の日 ～『弁当の日』の実践に向けて～	担当講師	園田 純子		
講習会場	山口県立大学 1号館 B24 教室	会場所在地	山口市桜畠 3-2-1		
開設日	平成 28 年 8 月 23 日 (火)	時間数	6 時間	受講定員	30 人
募集期間	平成 28 年 5 月 22 日～6 月 5 日	履修認定時期	平成 28 年 9 月 30 日まで		
履修認定対象職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な受講対象者	小・中・高等・特別支援学校教諭 養護教諭、栄養教諭		
受講料等総額	6,000 円	うち受講料以外の経費	0 円		
<p>【到達目標】 日本の食生活の現状について把握するとともに、「弁当の日」の意義を理解する。また、自身の勤務校の実情に応じ、家庭、地域、教員間で連携した「弁当の日」の実践（計画）を具体的に考えることができる。</p>					
<p>【講習の概要】 食事（作り）を通して、自らの健康を考え、自立を育む「弁当の日」の取り組みについて、小学校・中学校・高等学校での事例を示しながらその意義について解説する。また、演習（グループワーク）により「弁当の日」を実施するにあたっての問題点とその対応について考える。</p>					
<p>【評価の方法・評価基準】 評価の方法：筆記試験 合格：・日本の食生活の現状と問題点を理解できる ・弁当の日の意義および取り組みの方法について理解できる。 ・自身の勤務校における児童生徒の状況および保護者や地域の連携等現状より、弁当の日の実施に向けての課題（問題点）を把握できる。 ・学校の規模や実情に応じた弁当の日の実践について具体的に考えることができる。 不合格：上記以外</p>					
<p>【テキスト・参考資料】 テキストとして、当日資料を配布する。 なお、参考資料として以下のものをあげる。 ・竹下和男著、「弁当の日」がやってきた、自然食通信社、2003 ・竹下和男著、台所に立つ子どもたち、自然食通信社、2006 ・竹下和男著、始めませんか「弁当の日」、自然食通信社、2009 ・竹下和男著、弁当作りで身につく力、講談社、2012 ・西日本社「食 暮らし」取材班著、食卓の向こう側 8 ～食育 その力～、西日本新聞社、2006 ・西日本社「食 暮らし」取材班著、食卓の向こう側 9 ～広がる輪～、西日本新聞社、2007</p>					
<p>【受講者への伝達事項】 受講にあたっては、弁当の日の実践に向けて具体的に考えるために、勤務している学校の児童生徒の状況、保護者や地域の連携等、整理しておくことを勧める。</p>					